

国際女性デー記念事業

女性と災害とトイレ

災害時のトイレ、 あなたは考えたことがありますか？



この事業は、様々な業種や立場の女性たちが集まり、ともに災害時のトイレ対策について考え、その声を女性の意見として家庭はもちろん、勤務先や地域の防災対策に反映できることを目的としています。

そしてゆくゆくは防災に女性がより参画できるようになり、このゆる〜いつながりが女性たちの防災ネットワークとなることを願っています。

平常時の対策が災害時に役立ちます。誰もが安心して暮らせる社会を目指して、一緒にアイデアを出し合ひましょう。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。



トイレのお話

白倉 正子さん

トイレ研究家・アントイレプランナー代表

大学時代にトイレの卒論を書いたことがきっかけで、96年よりトイレ研究家に…。理念は「トイレから地球革命！」。国内外でトイレに関する視察・研究・事業を行っている。3児の母（大4年・高3年・高2年）。夫はトイレ診断士。04年「私の人生は『トイレ』から始まった！」発刊（ポプラ社）。12年TBS「マツコの知らない世界」出演。09年（一社）日本トイレ協会運営委員。トイレの女子会「便女（べんじょ）の会」主宰。23年世界トイレ協会理事。

定員

トイレに興味のある

女性50名

専業主婦・学生・行政や企業の防災・財務・子育て・福祉担当、福祉施設や医療機関、保育園・幼稚園・学校関係者、防災活動団体の方など、年齢・職業は問いません。女性とトイレについて、楽しく真剣に学んで備えましょう。

山梨県立男女共同参画推進センター

会場 びゅあ総合 大研修室

講師のお話の後、「トイレと女性と災害」について、講師と参加者で交流会を行います。

開催日

3.9日

13:30 ~ 15:30

参加は無料です

詳しくは裏面をご覧ください



主催・お問い合わせ

山梨県立男女共同参画推進センター

びゅあ総合

〒400-0862 山梨県甲府市朝気 1-2-2

TEL:055-235-4171 FAX:055-235-1077

(HP) <https://www.yamanashi-bunka.or.jp/pwm/topicssogo>

(MAIL) sogoevent@yamanashi-bunka.or.jp



女性と災害とトイレ

災害時のトイレ、あなたは考えたことがありますか？

災害時のトイレの実際は？携帯トイレの使い方は？代用できるものは？何をいくつ備えればいいのか？種類は？値段は？子どもでも使えるの？介護や看護が必要な方はどうすればいいのか？被災時に車に乗っていたり、家にすぐ帰れない時、尿意や便意を催したらどうしよう？和式トイレにしゃがむことができる？？…などなど、トイレと女性と災害について、皆さんの経験や知識も教えてください。そして具体的な対策を考え、それを女性の声として家庭や学校、地域や勤務先に届けましょう。

参加申込方法は4つ

①ぴゅあ総合に電話する 「3月9日の災害とトイレの講座に参加したい」とお伝えください。

電話 (055) 235-4171 受付 8:30～17:00 休館日 第2・第4月曜日

②右下の二次元コードから申し込む

入力フォームに接続しますので、必要事項を入力して送信してください。

接続できない場合はこちらの URL から <https://forms.gle/QB5ApaGnrq9Zkz1WA>

③申込用紙の内容をメールで送信する

件名「災害とトイレ申込」、本文に④の内容を入力して sogoevent@yamanashi-bunka.or.jp へてに送信して下さい。

④申込用紙に必要事項を記入して、ぴゅあ総合まで持参またはFAXする

FAX (055) 235-1077 24時間受付

お名前	連絡先電話番号	ご所属 (一般の方は記入不要)	お住まいの 市町村	託児
				お名前() 女児 ・ 男児 歳 ヶ月
				お名前() 女児 ・ 男児 歳 ヶ月
				お名前() 女児 ・ 男児 歳 ヶ月

FAX やメール、二次元コードでのお申し込みの受信確認は、翌日以降になることがあります。
いただきました個人情報は、本事業の開催にのみ使用し、第三者に共有されることはありません。



被災したら、トイレどうする？



お申し込み用
二次元コード